

BE  
THE  
PLAYER

自分で考え

動く 生み出す

そして社会を変える

誰一人取り残さない  
プロジェクト  
参考資料

## 事業のVision / Mission

### Vision

---

**どこからでも どこにいても BE THE PLAYER**

社会とのつながりから、社会的自立につなげていく

### Mission

---

市内全域に多様な学び場や居場所をつくり、  
誰もが必要な支援にアクセスできる環境を整える

# 加賀市 不登校支援プラン（令和6年4月策定）

## 加賀市 不登校支援 プラン

### 加賀市は多様な学び場や居場所を作っていくます

#### どこからでも どこにいても BE THE PLAYER

近年、学校に気持ちが向かなくなる子どもたちが増えています。要因はさまざまですが、誰にでも起こりうることです。

『加賀市学校教育ビジョン』を目指すのは「そろえる」教育から「伸ばす」教育。

子どもが学校に合わせるのではなく、学校が変わっていく、そして、多様な学び場や居場所からも、子どもたちを社会と未来につなげていきます。

自分で考え  
動く 生み出す  
そして社会を変える

BE  
THE  
PLAYER

#### 校内 サポート

- 画一的な一斉一律の授業から「子どもが主役」の授業へ
- 学校の中の居場所の多様化
- いつでも相談できる多様な環境

#### 校外 サポート

- 教育総合支援センターが中心となる学校や地域、関係機関との連携
- 教育総合支援センターによる、個人のアセスメント、きめ細かい支援方策のケース検討の実施
- 地域で受け入れる場の多様化

#### 学校内 の相談先・居場所



担任の先生・教育相談の先生など  
学校に行きづらくなった、行き渋るようになった場合は、  
まずは担任または教育相談の先生などにお気軽に  
ご相談ください。

#### New スクールサポートルーム（校内支援センター・SSR）

様々な理由で教室に入るのが難しい子どもたちが安心して通える学校内の  
スペースです。学級の時間割とは異なり、自分のペースで学習を進める  
れる点が特徴です。令和6年度より市内15校に設置予定です。

#### 学校内外をつなぐ 相談先



教育総合  
支援センター  
0761-73-0118  
(加賀市三木町二丁目98番地)

学校に行きづらくなった子どもたちを支援する専門機関であり、学校  
内外のサービスを橋渡してくれる機関です。スクールソーシャル  
ワーカーも在籍していますので、どこに頼ったらいかわからない場  
合にもご相談ください。

チャットで相談  
できるサービス



#### 学校外 の居場所



#### New 児童センター（市内6カ所）

子どもたちの遊び場や図書室、学習室などがあります。  
様々な理由で学校に行きづらい場合に、子どもたちの  
居場所として利用することができます。

児童センターに  
ついてはこち  
ら

#### New 「Being」（教育総合支援センター内：ゆめぞみ教室）

教育総合支援センター内に新設された「Being」（ゆめぞみ教室）  
は、児童青少年の心の健康や発達をめざすための支援活動を行な  
うための施設です。児童青少年の心の問題に対する理解と対応を  
深め、児童青少年の心の健康や発達をめざすための支援活動を行な  
うための施設です。

校内・校外と分けることなく、市内全域に多様な学び場・居場所をつくり、  
様々な段階や場所に対応できるシームレスで一体的な政策を展開

## メタバース上の居場所の運営 (教育総合支援センター Being さぽーとるーむ)

日時：令和6年10月17日～

月・木曜日

10時半～11時半、13時～14時

運営：教育総合支援センター職員  
教育庶務課など

目的：対面でコミュニケーションが難しい、家から出ることが難しい  
子供に対して、仮想空間上の安心安全な居場所として活用。

事業効果：開設費用を抑えられる

自己表現がしやすい（コミュニケーションしやすい）

空間の中でゲームやシミュレーションなどの様々なコンテンツ



## 児童センターの有効活用（教育委員会×福祉部局）



自宅



1) 連絡・相談

2) 訪問日時調整



児童センター  
(市内6箇所)

3) 環境調整



コーディネーター



教育総合支援センター



教育委員会

家から通いやすい地域における居場所

教育総合支援センターのサテライト的な役割の”居場所”

事業効果：既存施設の有効活用

比較的利用の少ない午前中に引きこもりや

不登校の子どもたちにも利用できる居場所となる



## 令和6年度 特徴的な取り組み例③

### 校内カフェ（コミュニティスクール&学校）

日時：令和7年2月19日 14時20分～15時50分

加賀市立片山津中学校

運営：コミュニティスクール委員

民生委員など 8名

参加者：90名

目的：手作りのおはぎやジュースを持参して子どもたちにふるまいながら、子どもたち自らが過ごしたい場とする。

子どもたちの声：地域の人とたくさん関われ、普段話せない話ができる、すごく楽しかった。

事業効果：コミュニティスクールや民生委員など地域の人と話す貴重な機会となった。

子どもの負担がなく気軽に実施できる。



## 居場所カフェ (NPO法人)

### 目的

学校でもない家でもない第3の居場所を高校生に提供するためにホテル内のカフェをホテルオーナーと共同でリフォーム

週2回居場所カフェとして開設（16時～19時）し、地元企業と連携しながら夏休みはこども食堂も開催を予定している。

事業効果：NPOとホテルがタイアップし、地元企業とも連携しながらこども食堂を含めた子どもの居場所づくりとなっている。





自分で考え  
動く 生み出す  
そして社会を変える

# 子どもの居場所にかかる 広報啓発事業 参考資料

## 保護者座談会①

# 子どもの話をしよう～おはなしひろば～

日時：令和6年10月4日(金)19時30分～20時30分

場所：湖北地区会館（加賀市柴山町も33番地）

参加者：市民8名

目的：子育て、学校、子どもの話に関する座談会

### 実施結果

一人の人に話が集中したりもしたが、全員参加型で話す機会となった。参加者は普段の生活で話すことができない子育てや子どもの居場所に関する事を話し、貴重な時間となった。

子どもを連れて来られる方の為に、入口付近に遊び場を作り、ボランティアの保育士を配置した。



## 保護者座談会②

# みんなで考えたい！不登校の話

日時：令和6年12月22日（日）10時～12時

場所：教育総合支援センター

参加者：市内外38名+子ども3名

ゲスト：今村久美氏（NPO法人力タリバ代表・  
こども家庭庁子どもの居場所部会委員など）

目的：不登校、子育て、学校、子どもの居場所  
に関する講演、座談会

## 実施結果

加賀市以外の有識者の講演により、不登校をはじめ、多様化する子どもの居場所について参加者自身が考える時間となった。



## 保護者座談会③

# みんなで考えたい！不登校の話～オンライン～

日時：令和7年2月21日（金）20時～21時

参加者：12名

目的：座談会に参加できない（オンラインでは参加できる）方向けの不登校、子育て、学校、子どもの居場所に関する講演・座談会

## 実施結果

コーディネーターから子育てや不登校に関する講演を行った。オンラインでは、座談会のような参加者同士が話し合う機会は難しかったが、不登校や子育てに関する話を聞きたい人が多く、平日の夜開催のニーズもあることが分かった。



## 保護者座談会④

# BE THE PLAYER FES 子どもの居場所ブース

日時：令和7年3月20日(祝)10時～12時

場所：加賀市市民会館

参加者：約40名

目的：教育イベントと合同で子どもの居場所ブース（座談会・メタバース体験会）を実施。

### 実施結果

子どもの困り感などをグループトークで実施やメタバースの保護者体験会を実施。その後の子育て相談に繋げた

